

……2016年人文地理学会大会について [第2報] 発表申し込み方法について……

一般研究発表の申し込みについて:以下の要項にて一般研究発表を募集します。昨年度までとは異なり、発表申し込みは発表要旨集原稿のファイルのメール (e-mail) 提出をもっておこないます。ご発表を予定されている会員は、くれぐれもご留意のほど、お願い致します。

◆**発表種別:**「一般発表」、「ポスター発表」、「公募セッション」の3種類の申し込みを受け付けます。「一般発表」と「ポスター発表」は、従来の「口頭発表」と「ポスター発表」に相当します。一昨年度から設けている「公募セッション」は、共通のテーマを掲げ、3件または4件の個別発表と討論(質疑応答)をセットにした研究発表の形式であり、名称が紛らわしい嫌いがあるので、昨年までの「セッション」を今回、改めることにしました。

◆**申込資格:**

1. 一般発表および公募セッションについては、11月13日(日)の指定時間に会場で発表ができること。(発表時間帯の割り振りにつきましては、大会準備委員会にご一任いただきます)
2. ポスター発表については、12日(土)午後もしくは13日(日)の昼休みに質疑応答ができること。
3. 10月末日までに会員となっている方。非会員を含む共同発表も可能ですが、スピーカー(説明者)が本学会会員であることが条件です。ただし、1つの公募セッションに含まれる個別発表1件についてのみ、非会員をスピーカー(説明者)とすることが可能です。
4. 一般発表、ポスター発表、公募セッションを通じて、スピーカーとなれるのは1件までです。また、共同発表者を含めて、2件まで発表者となることができます。
5. 発表言語は日本語または英語です。

◆**申込締切:**9月10日(土)17:00 ※厳守 応募期限内にメール提出を完了する必要があります。

◆**申込方法:**「発表要旨集原稿」のファイル(Word形式)を添付し、メール本文中に①発表者氏名、②発表種別、一般発表の場合は希望する発表分野(第1希望・第2希望)、③連絡先住所、④連絡先電話番号の4つを記して、下記メールアドレスまで送ってください。

apply@hgsj.org (人文地理学会 大会発表申込受付係)

なお、発表要旨集原稿は昨年と同様に2ページ以内で、印刷は白黒となります。フォーマット等の詳細については、7月下旬までに学会HPに掲げます。

公募セッションについては、代表者が全発表分をひとつのメールにまとめて申し込んでください。その際、メール本文中に①公募セッションのテーマ、②個別発表者の氏名、③代表者の連絡先住所、④代表者の連絡先電話番号の4つを明記してください。

※メールの件名に、「発表要旨集原稿」送付の旨を明記してください。

例) 発表要旨(神戸大学・藤田裕嗣)

※添付する発表要旨集原稿の「ファイル名」には必ず申込者の名前をつけてください。

例) 藤田裕嗣-研究発表要旨.doc

到着確認後3日以内(土日を除く)に返信メールをお送りします。返信メールが未着の場合は、学会事務室にご連絡ください。

必ず指定フォーマット（Word 版）でご提出ください。レイアウトやフォント（字体）がフォーマットに従った形になっているか、提出前によく確認してください。

◆口頭発表は、例年通り 25 分程度と予定しています。発表ではパワーポイントを使用できます。発表資料は、事前に提出いただく原稿に基づく要旨集を原則とします。

◆ポスター発表に関する要領等については、大会第 3 報および学会ホームページにてお知らせします。

◆公募セッションに関する要領等については、以下の通りです。

① 公募セッションは、代表者・個別発表者・司会者（座長）のチームから組織されるもので、一般発表の 3 件分、または一般発表の 4 件分の時間帯を一枠（フレーム）として使うことができます。3 件分のフレーム（Aセッション）か 4 件分のフレーム（Bセッション）のどちらかを選択できます。

② 公募セッションの代表者は、個別発表者または司会者（座長）を兼ねることができます。司会者（座長）は、公募セッションの全体を通じて一人が担当するものとし、プログラムの座長表にも記載します。

③ Aセッションの場合は 3 件の個別発表によって、Bセッションの場合は 4 件の個別発表によって、それぞれ構成します。個別発表を連ねた後に、まとめて討論（質疑応答）の時間をとることを原則とします。また、公募セッション開始時には趣旨説明を行うことができます。なお、個別発表の題目は内容に即したものとし、「その 1」「その 2」などの題目は受け付けません。

④ 公募セッションを構成する個別発表の時間は、一般発表の「第 1 鈴」相当の時間と「第 2 鈴」相当の時間の間で、任意に設定することができます。公募セッション終了時を含めて、各交替時間として 1 分ずつを確保します。なお、2015 年大会の発表時間（25 分：1 鈴 15 分・2 鈴 20 分・3 鈴 24 分）を基準に例示すれば、次のような配分が可能です（個別発表にも短い質疑応答の時間を設定することができます）。

例) A セッション 75 分：趣旨説明 3 分・個別発表 3 件 15 分（発表 13 分+質疑応答 2 分）×3・
討論 22 分・交替時間の合計 5 分

例) B セッション 100 分：趣旨説明 3 分・個別発表 4 件 17 分（発表 15 分+質疑応答 2 分）×4・
討論 23 分・交替時間の合計 6 分

⑤ 公募セッション用の会場は設けず、同じ会場に分野・内容に即して一般発表と公募セッションとを適宜、配置します。

⑥ プログラムには、公募セッションのテーマ、代表者名、個別発表の発表者名、発表題目を掲げます。開始時間と終了時間を明記し、個別発表のそれぞれの時間は記載しません。なお、個別発表には、当該会場全体の発表順に従う発表番号を付します。